

『沖縄芸術の科学』第33号別刷

1960年代の電話帳にみる沖縄諸地域における 劇場・映画館の変遷（増補版）

大嶺可代

2021年3月

1960年代の電話帳にみる沖縄諸地域における劇場・ 映画館の変遷（増補版）

大嶺可代

Looking at Changes in Okinawan Theatres According to Phonebooks from 1960 to 1972 (Enlarged Edition)

Kayo OMINE

I extracted addresses of theatres from phonebooks from 1960 to 1972. These were released by "Ryukyu Telegraph and Telephone Public Corporation" and "Nippon Telegraph and Telephone Public Corporation Okinawa Bureau." This is an enlarged edition of my report published in 2018. I suggest everyone should use this database to update Okinawan cultural history.

本論文では2018年紀要所収「昭和40年代の電話帳にみる沖縄・奄美諸地域における劇場・映画館の変遷」に収めた沖縄諸地域のデータを大幅に加筆した。

今回用いたのは次の資料である。原則として『職業別電話番号簿』を用いてデータ化を進めた。①②③（前回データ作成分）は沖縄県立図書館および国立国会図書館東京本館所蔵。(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)は沖縄県立図書館所蔵。

- (1)『電話番号簿 1960年8月1日現在』（琉球電信電話公社）
- (2)『電話番号簿 1963年版』（1962年作成）（同上）
- (3)『電話番号簿 1964年版』（1963年7月1日現在）（同上）
- ①『琉球電話番号簿 1964年7月1日現在』（同上）
- (4)『電話番号簿 1967年版』（1966年10月1日現在）（同上）
- (5)『電話番号簿 1968年版』（1967年7月1日現在）（同上）
- ②『琉球電話番号簿 1969年7月1日現在』（同上）
- (6)『電話番号簿 1971年版』（1970年7月1日現在）（同上）

(7)『電話番号簿 1972年版』(1971年6月30日現在)(同上)

③『沖縄県電話帳 五十音職業別 昭和47年7月1日現在』
(日本電信電話公社沖縄電信電話管理局)

1. 1960年(昭和35年)～1972年(昭和47年)の沖縄諸地域における劇場／映画館の掲載状況(表1)

表 1

	住所	(1)1960/8/1	(2)1962	(3)1963/7/1	① 1964/7/1
1	那覇市安謝 196	安謝劇場			
1	那覇市安謝 264		安謝劇場	安謝劇場	安謝劇場
2	那覇市安里 10	琉球映画貿易株式会社	琉球映画貿易株式会社	琉球映画貿易株式会社	琉球映画貿易株式会社
2	那覇市安里 10		琉映本館	琉映本館	琉映本館
3	那覇市寄宮 164		寄宮国映	寄宮国映	寄宮国映
4	那覇市寄宮 183		寄宮琉映館	寄宮琉映館	寄宮琉映館
5	那覇市鏡原 3-4		小禄琉映	小禄琉映	小禄琉映
6	那覇市高良 100	小禄銀映	小禄銀映	小禄銀映	小禄銀映
6	那覇市高良 89				
7	那覇市高良 50	小禄劇場	小禄劇場	小禄劇場	小禄劇場
8	那覇市山下 1-204			ペリー琉映館	ペリー琉映館
9	那覇市松山 1-1		文化座	文化座	文化座
10	那覇市松尾 2	国映館	国映館	国映館	国映館
11	那覇市前島 2-147-17	若松国映	若松国映	若松国映	若松国映
12	那覇市前島 2-147-17				
13	那覇市大中 2-26				
13	那覇市大中 2-121			首里劇場	
13	那覇市大中 1-5				
14	那覇市鳥堀 1-19	首里有楽座	首里有楽座	首里有楽座(合名)	首里有楽座(合名)
15	那覇市壺屋 278		真和志琉映館	真和志琉映館	真和志琉映館
16	那覇市壺屋 284-2			あけぼの劇場	あけぼの劇場
17	那覇市樋川 41	開南琉映(合資)	開南琉映(合資)	開南琉映(合資)	開南琉映
18	那覇市牧志 1-770	沖映本館	沖映本館	沖映本館	沖映本館
19	那覇市牧志 1-770	ニュー沖映館	ニュー沖映館	ニュー沖映館	ニュー沖映館
20	那覇市牧志 1-770	平和館	平和館	平和館	平和館
21	那覇市牧志 1-779	南映劇場	南映劇場(合資)	南映劇場(合資)	南映劇場(合資)
21	那覇市牧志 1-773				
22	那覇市5区1組	大宝館	大宝館	大宝館	
22	那覇市牧志 1-784				沖縄東宝劇場
22	那覇市牧志 1-789				
23	那覇市牧志 2-116		国際琉映	国際琉映	国際琉映
23	那覇市牧志 2-116	国際琉映館	国際琉映館	国際琉映館	国際琉映館
24	那覇市牧志 2-18			グランドオリオン	
24	那覇市牧志 2-180	グランドオリオン	グランドオリオン		グランドオリオン
25	那覇市牧志 2-180	桜坂オリオン	桜坂オリオン	桜坂オリオン	桜坂オリオン

(4) 1966/10/1	(5) 1967/7/1	② 1969/7/1	(6) 1970/7/1	(7) 1971/6/30	③ 1972/7/1
安謝劇場	安謝劇場	安謝劇場	安謝劇場		
琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式
寄宮国映	寄宮国映	寄宮国映	寄宮国映		
寄宮琉映館	寄宮琉映館	寄宮琉映館			
小禄琉映	小禄琉映	小禄琉映	小禄琉映	小禄琉映	小禄琉映
		小禄銀映	小禄銀映	小禄銀映	小禄銀映
ペリー 琉映館	ペリー 琉映館	ペリー 琉映館			
国映館	国映館	国映館	国映館	国映館	国映館
若松国映	若松国映	若松国映	若松国映	若松国映	若松国映
				国映アドセンター	国映アドセンター
首里劇場					
首里劇場	首里劇場	首里劇場	首里劇場	首里劇場	首里劇場
首里有楽座(合名)	首里有楽座(合名)	首里有楽座(合名)	首里有楽座(合名)	首里有楽座(合名)	首里有楽座(合名)
真和志琉映館	真和志琉映館	真和志琉映館	真和志琉映館	真和志琉映館	真和志琉映館
あけぼの劇場	あけぼの劇場	あけぼの劇場	あけぼの劇場	あけぼの劇場	あけぼの劇場
開南琉映	開南琉映館	開南琉映館	開南琉映館	開南琉映館	開南琉映館
沖映本館	沖映本館	沖映本館	沖映本館	沖映本館	沖映本館
ニュー沖映館	ニュー沖映館				
平和館	平和館	平和館	平和館	平和館	
南映劇場(合資)	南映劇場(合資)	南映劇場(合資)	南映劇場(合資)		
				南映劇場(合資)	南映劇場(合資)
沖縄東宝劇場	沖縄東宝劇場	沖縄東宝劇場	沖縄東宝劇場		
				沖縄東宝劇場	沖縄東宝劇場
国際琉映館	国際琉映館	国際琉映館	国際琉映館	国際琉映館	国際琉映館
グランドオリオン	グランドオリオン				
桜坂オリオン	桜坂オリオン	桜坂オリオン座	桜坂オリオン座	桜坂オリオン座	桜坂オリオン座

	住所	(1) 1960/8/1	(2) 1962	(3) 1963/7/1	① 1964/7/1
26	那覇市牧志 2-208		桜坂琉映	桜坂琉映	桜坂琉映
26	那覇市牧志 2-208	桜坂琉映館	桜坂琉映館	桜坂琉映館	桜坂琉映館
27	那覇市牧志 2-67				
27	那覇市牧志 2-67		グランドオリオン	グランドオリオン	グランドオリオン
28	那覇市神里原	大洋琉映館	大洋琉映		
28	那覇市与儀西原 562-2			大洋琉映	大洋琉映
28	那覇市与儀西原 562-2		大洋琉映館	大洋琉映館	大洋琉映館
28	那覇市与儀 562-2				
29	糸満町(市)字糸満 1413		南部オリオン	南部オリオン	南部オリオン
29	糸満町(市)字潮平 590				
30	糸満町(市)字糸満 1413		南部沖映館	南部沖映館	南部沖映館
31	糸満町(市)字糸満 1434		南部東映館	南部東映館	南部東映館
32	糸満町(市)字糸満 967		糸満国映館	糸満国映館	糸満国映館
33	与那原町与那原 3110-2		与那原沖映館	与那原沖映館	与那原沖映
34	与那原町与那原 3120		もなり座	もなり座	もなり座
35	(島尻郡)南大東村在所区 3班			大東映画館	大東映画館
36	浦添村(市)屋富祖 230		浦添沖映館	浦添沖映館	浦添沖映館
37	浦添村(市)屋富祖 236		浦添琉映館	浦添琉映館	浦添琉映館
38	浦添村(市)屋富祖 301		浦添オリオン座	浦添オリオン座	浦添オリオン座
39	宜野湾市普天間 138	グランドパレス	グランドパレス	グランドパレス	グランドパレス
40	宜野湾市普天間 495		開放地琉映	開放地琉映	開放地琉映
41	宜野湾市普天間 564		普天間沖映	普天間沖映	普天間沖映
42	宜野湾市普天間 586		普天間琉映	普天間琉映	普天間琉映
43	コザ市照屋 58	十字路オリオン座	十字路オリオン座	十字路オリオン座	十字路オリオン座
43	コザ市越来 28				
44	コザ市胡屋 2				
45	コザ市胡屋一里根原 2	胡屋オリオン座			
45	コザ市胡屋一里根原 1353		胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	胡屋オリオン座
45	コザ市胡屋 1353				
46	コザ市胡屋 1611	キャピトル館	キャピトル館	キャピトル館	キャピトル館
47	コザ市胡屋 29	胡屋琉映館	胡屋琉映館	胡屋琉映館	胡屋琉映館
48	コザ市山里 75	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館
49	コザ市安慶田 83	コザ沖映新館			
49	コザ市照屋 13		コザ沖映新館	コザ沖映新館	コザ沖映新館
50	コザ市照屋 46	コザ琉映館	コザ琉映館	コザ琉映館	コザ琉映館
51	コザ市照屋 61	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館
52	コザ市照屋後原 5	十字路国映館	十字路国映館	十字路国映館	十字路国映館
53	コザ市上地 257	園見国映館			
53	コザ市上地 1817		園見国映館	園見国映館	園見国映館
54	コザ市上地 247	中部沖映館	中部沖映館	中部沖映館	中部沖映館
55	コザ市諸見里 224	コザ国映館	コザ国映館	コザ国映館	
55	コザ市諸見里 1149	ニュー国映館	ピカデリー国映	ピカデリー国映	ピカデリー国映
56	コザ市諸見里 188	バルム座	バルム座	バルム座	バルム座
57	嘉手納村嘉手納 259		嘉手納琉映館	嘉手納琉映館	嘉手納琉映館
58	嘉手納村嘉手納 286		嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館
59	嘉手納村嘉手納 289		嘉手納第二東映館		

(4) 1966/10/1	(5) 1967/7/1	② 1969/7/1	(6) 1970/7/1	(7) 1971/6/30	③ 1972/7/1
桜坂琉映館	桜坂琉映館	桜坂琉映館	桜坂琉映館	桜坂琉映館	桜坂琉映館
			オリオン興業(株)	オリオン興業(株)	オリオン興業(株)
グランドオリオン	グランドオリオン	グランドオリオン	グランドオリオン	グランドオリオン	グランドオリオン
大洋琉映館	大洋琉映館	大洋琉映館			
南部オリオン	南部オリオン	南部オリオン	南部オリオン	南部オリオン	
					南部オリオン
南部東映館					
糸満国映館					
与那原沖映館	与那原沖映館	与那原沖映館	与那原沖映館	与那原沖映館	与那原沖映館
もなり座	もなり座	もなり座	もなり座		
大東映画館	大東映画館	大東映画館	大東映画館	大東映画館	大東映画館
浦添沖映館	浦添沖映館	浦添沖映館	浦添沖映館	浦添沖映館	浦添沖映館
浦添琉映館	浦添琉映館	浦添琉映館	浦添琉映館	浦添琉映館	浦添琉映館
浦添オリオン座	浦添オリオン座	浦添オリオン座	浦添オリオン座	浦添オリオン座	浦添オリオン座
グランドパレス	グランドパレス	グランドパレス	グランドパレス	グランドパレス	グランドパレス
開放地琉映	開放地琉映館	開放地琉映館	開放地琉映館	開放地琉映館	開放地琉映館
十字路オリオン座	十字路オリオン座	十字路オリオン座	十字路オリオン座		
				十字路オリオン座	十字路オリオン座
		胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	胡屋オリオン座
胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	胡屋オリオン座	
					ゴヤオリオン
胡屋琉映館	胡屋琉映館	胡屋琉映館	胡屋琉映館	胡屋琉映館	胡屋琉映館
鳥袋琉映館	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館	鳥袋琉映館
コザ沖映新館	コザ沖映新館	コザ沖映新館	コザ沖映新館	コザロキシー	コザロキシー
コザ琉映館	コザ琉映館	コザ琉映館	コザ琉映館	コザ琉映館	コザ琉映館
第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館	第一セントラル琉映館
十字路国映館	十字路国映館	十字路国映館	十字路国映館	十字路国映館	十字路国映館
園見国映館	園見国映館	園見国映館	園見国映館		
中部沖映館	中部沖映館				
ピカデリー国映	ピカデリー国映	ピカデリー国映	ピカデリー国映	ピカデリー国映	ピカデリー国映
バルム座	バルム座	バルム座	バルム座		
嘉手納琉映館	嘉手納琉映館	嘉手納琉映館	嘉手納琉映館	嘉手納琉映館	嘉手納琉映館
嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館	嘉手納沖映館・国映館

	住所	(1) 1960/8/1	(2) 1962	(3) 1963/7/1	① 1964/7/1
59	嘉手納村嘉手納 287			嘉手納第二琉映館	嘉手納第二東映館
60	読谷村波平 39		読谷沖映	読谷沖映館	読谷沖映館
61	具志川村(市)安慶名 482		安慶名国映館	安慶名国映館	安慶名国映館
62	具志川村(市)安慶名 527				
63	具志川村(市)安慶名 528		安慶名沖映館	安慶名沖映館	安慶名沖映館
64	具志川村(市)田場 510		安慶名琉映館	安慶名琉映館	安慶名琉映館
65	石川市上間松男				
66	石川市石川 363		石川沖映	石川沖映	石川沖映
67	石川市石川 625		石川国映館	石川国映館	石川国映館
68	石川市石川 684		石川オリオン	石川オリオン	石川オリオン
69	勝連村平安名 1612		与勝琉映館	与勝琉映館	与勝琉映館
70	名護町(市)字名護 369		名護映画劇場	名護映画劇場	名護映画劇場
71	名護町(市)字名護 615		北部沖映館	北部沖映館	北部沖映館
72	名護町(市)字名護 629		名護国映	名護国映	名護国映
72	名護町(市)字名護 692				
73	名護町(市)字名護 630		名護琉映館	名護琉映館	名護琉映館
74	金武村金武 419		金武琉映	金武琉映	金武琉映
74	金武村金武 528				
75	国頭郡今帰仁村仲宗根 279		今帰仁沖映館	今帰仁沖映館	今帰仁沖映館
76	国頭郡本部町渡久地 139		本部劇場	本部劇場	本部劇場
77	国頭郡本部町渡久地 142-1				本部沖映
78	国頭郡伊江村東江前 116			江の島劇場	江の島劇場
78	国頭郡伊江村東江前 14		江の島劇場		
79	国頭郡国頭村辺土名 114				辺土名琉映画
80	国頭郡国頭村辺土名 1437		国頭映劇	国頭映劇	国頭映劇
81	平良市下里 565		宮古琉映館	宮古琉映館	宮古琉映館
82	平良市西里 157		沖映館	沖映館	沖映館
83	平良市西里 158				
84	平良市西里 220				
85	平良市西里 239		国映館	国映館	国映館
85	平良市西里 293				
86	平良市西里 239		平和館		
86	平良市西里 297			平和館	平和館
87	平良市西里 56			とみや会館	とみや会館
88	平良市字池間 229			池間映画館	池間映画館
89	(宮古郡)多良間村塩川 201				
90	石垣市石垣 21		国際館	国際館	国際館
91	石垣市石垣 36-1		万世館	万世館	万世館
92	石垣市大川 200-1		八重山沖映本館	八重山沖映本館	八重山沖映本館
93	石垣市大川 204		丸映館	丸映館	丸映館
94	石垣市登野城 32				大勝劇場
95	那覇市安里 82-1	沖縄教育映画社			
96	那覇市安里 388	沖縄劇場	沖縄劇場	沖縄劇場	
97	那覇市松尾原 107	琉球文化映画株式			
98	コザ市上地 308	中部琉映館			
99	那覇市高橋 1-5		泊劇場		
100	宜野湾市野嵩 1542		スカラ座	普天間スカラ座	
101	コザ市安慶田 87		胡差沖映館		

	住所	(1) 1960/8/1	(2) 1962	(3) 1963/7/1	① 1964/7/1
102	コザ市上地 231		中之町琉映館	中之町琉映館	
103	国頭郡伊江村東江前 121		日映館	日映館	
2	那覇市栄町 338		琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式	琉球映画貿易株式
103	那覇市重民 2				
104	宮古郡城辺町福里 634				
105	那覇市崇元寺 1-43				

今回データを増補するにあたり、前回データ通し番号をそのまま用い、新たに確認された劇場／映画館については追加番号を付与している。同名称かつ同住所で2回掲載されている場合1データとして取り扱う。

1) 那覇地区

今回新たに95沖縄劇場と97泊劇場の掲載を確認できた。(4)(5)で6小禄銀映¹の記載が途絶えているが詳細は不明。13首里劇場は(4)によると一時期事務所を別に構えていたらしい。26桜坂琉映(館)は(1)(2)住所に牧志町とのみ記載されているが誤記であろう。

琉映は(1)より2琉球映画貿易株式の項に事務所(安里)を掲載、(2)(3)は事務所(安里、栄町)ならびに傘下の映画館(2琉映本館、26桜坂琉映、28大洋琉映、23国際琉映)、(4)には17開南琉映が加わる。また(4)からは栄町の事務所と2琉映本館の記述が消えている。オリオン系列は②以降27オリオン興業(株式)の項に27グランドオリオンと25桜坂オリオン座を掲載。国映系列は「国映興業(株)」として(7)で10国映館、22沖縄東宝劇場、11若松国映、12国映アドセンター、103崇元寺工場を掲載、③では工場は除外されている。

2) 島尻郡(那覇・浦添を除く本島南部地区)

30南部沖映、31南部東映、32糸満国映は1960年代後半には掲載が確認できない。同様に34もなり座も1971年には姿を消したと推測される。

3) 浦添宜野湾地区

今回、98スカラ座²の掲載を確認できた。41普天間沖映、42普天間琉映とともに1960年代後半には掲載が途絶えている。

(4) 1966/10/1	(5) 1967/7/1	② 1969/7/1	(6) 1970/7/1	(7) 1971/7/1	③ 1972/7/1
U.S映画プロダクション					
福里平和会館	平和会館				
				国映アドセンター 崇元寺工場	

4) コザ地区

新たに96中部琉映、99胡差沖映館、100中之町琉映館、104コザ国映の掲載を確認できた。これで1960年初頭のコザ地区には最低でも17軒の映画館が存在したことになる。

5) 中頭郡（宜野湾・コザを除く本島中部地区）

69与勝琉映館は1960年代前半に、59嘉手納第二東映館、61安慶名国映、66石川沖映は1960年代後半にはそれぞれ姿を消したと推測される。なお65石川琉映³については、(6)(7)に収められた『人名別電話番号簿 石川局』において「石川180」という住所で掲載が確認できた。なぜ『人名別』と『職業別』で異なった住所が掲載されているのかは不明である。

6) 名護地区

70名護映画劇場 71北部沖映館は1960年代後半には掲載が確認できない。

7) 国頭地区（名護を除く北部地区）

今回伊江島の101日映館の掲載を確認できた。77本部沖映の掲載が1964年の一年間しか確認できないが詳細は不明。

8) 先島諸地域

宮古島の城辺村に102平和会館があった模様だが、短い期間で閉鎖したものであると思われる。現地からの情報を待ちたい。

2. 『キネマ旬報』「われらの映画館」に掲載された沖縄本島地域の映画館

『キネマ旬報』は言うまでもなく戦後日本を代表する映画専門誌である。本誌には「われらの映画館」と写真エッセイシリーズが掲載された。評論家・上野昂志は「沖縄篇」と銘打って合計5軒の映画館を紹介している。

1 軒目は1976年11月号、シリーズ114回目の本部琉映。住所が76本部劇場と同一である。本文中「昭和23年ごろ芝居小屋として建てられた」とあり、映写技師の真喜屋氏が海洋博の影響で「道がよくなったから映画好きは名護まで行っちゃうんですね」と語っている。⁴

2 軒目は1976年12月号、シリーズ第116回目の那覇国映で、10国映館のこと。国映興産専務の渡口氏の話として、復帰後のインフレで映画料金がおよそ三倍になったという話が掲載されている。⁵

3 軒目は1977年1月号、第118回目にはデータ16あけぼの劇場が取り上げられた。本文中に「昭和46年ぐらいまではほぼ1ヶ月交替の割合で芝居をやっていたらしい」と書かれている後に「(同年まで)映画の赤字を芝居が埋めていた」という、経営者の増田氏の奥さんの証言がある。昭和40年代には映画が芝居を優勢していた、という従来論とは異なる見解であり注目したい。⁶

4 軒目は1977年3月号、シリーズ第121回に掲載された南部琉映。31南部東映館とほぼ住所が同一であるが、『沖縄まぼろし映画館』90頁に掲載された地図によると別の建物だったようだ。本文中に「南部オリオンも昨年の春つぶれた」とあるので、29南部オリオンは1976年春の閉館と推測される。南部琉映の売店にいる玉城氏の話として、「(映画に人が来ないのは)テレビの影響も大きかったけれど最近はずパチンコだね」との言葉があり興味深い。⁷

最後の5軒目として1977年5月号、第123回に登場したのは琉映本館。言わずもがな2琉映本館のことで、電話帳では掲載は途絶えているものの1977年には間違いなく営業していたことが証明できる。琉球映画貿易の親泊常務が「沖縄じゃね、ギャンブルを扱った映画はダメなんですよ」と述べており、経営者による沖縄での映画需要分析の一端がうかがえる。⁸

なお、『月刊 太陽』1988年7月号では小説家の村松友視の手によって91

万世館に関するエッセイが収められた。平凡社より1989年7月に刊行された単行本『黄昏のムービーパレス』に収録されているので、興味をお持ちの方は各自でご参照いただきたい。

注

- 1 小祿銀映についての詳細は平良竜次「おきなわまぼろし映画館」『琉球新報』2019年10月11日に掲載。
- 2 スカラ座についての詳細は平良竜次「おきなわまぼろし映画館」『琉球新報』2018年9月14日。
- 3 石川琉映については平良竜次が「おきなわまぼろし映画館」で取り上げた。『琉球新報』2020年5月8日付掲載。石川国映については「おきなわまぼろし映画館」『琉球新報』2020年3月13日付、石川沖映と新興劇場については「おきなわまぼろし映画館」『琉球新報』2020年4月10日付、石川オリオンと石川劇場の関係については「おきなわまぼろし映画館」『琉球新報』2020年7月10日付で掲載。
- 4 上野昂志「われらの映画館」『キネマ旬報』1976年11月号。グラビア61p。取材記事124p。
- 5 上野昂志「われらの映画館」『キネマ旬報』1976年12月号。グラビア49p。取材記事122p。
- 6 上野昂志「われらの映画館」『キネマ旬報』1977年1月号。グラビア50p。取材記事130p。
- 7 上野昂志「われらの映画館」『キネマ旬報』1977年3月号。グラビア54p。取材記事138p。
- 8 上野昂志「われらの映画館」『キネマ旬報』1977年5月号。グラビアならびに取材記事162-163pp。

